

IV 繫留

1. 繫留方法にもいろいろあります



スタンションは70%の酪農家で使用されています。
牛にとって快適とは言えませんが、牛の出し入れは簡単です。



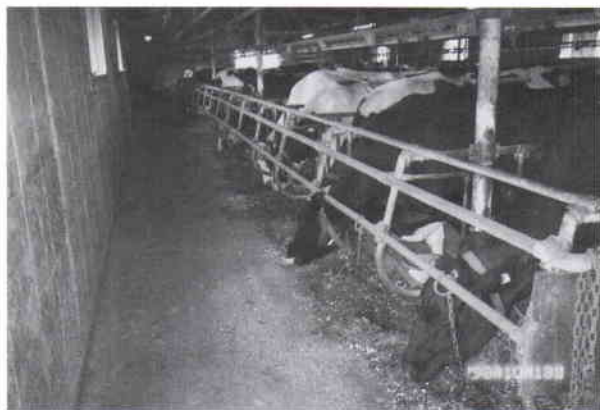
最近写真のようなニューヨークスタイルに改善する事例が増えています。



写真は左右支点方式です。

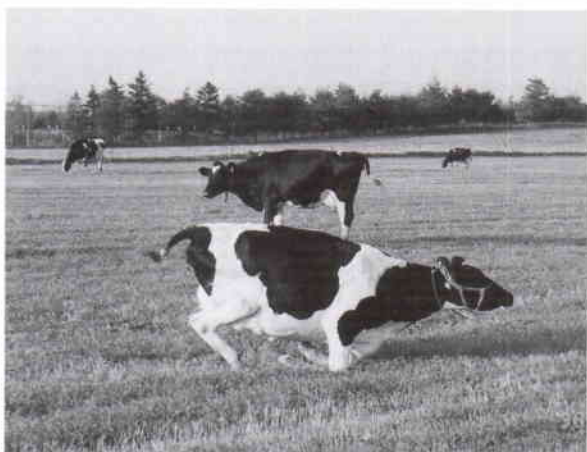


スタンションをとりはずしチェーンやロープを利用した上下支点方式。



コンフォート方式の牛舎

2. スタンションには欠点もあります



放牧地は自由なので寝起きも楽に出来ます。そしてフリーストールではこんな休息もできます。



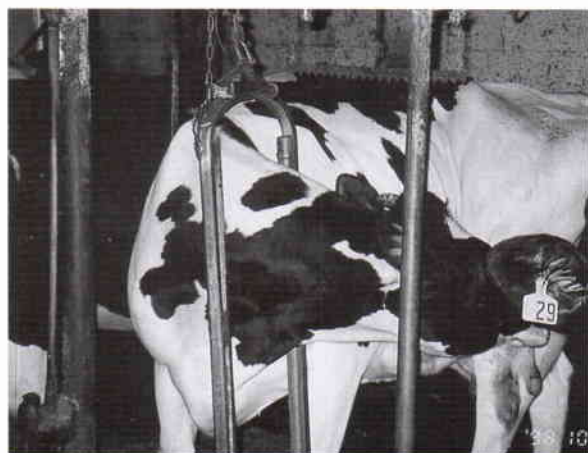
首を曲げて休むことができない



起きあがるときに前後に体重移動しにくい



スタンションの下部に咽が当たる

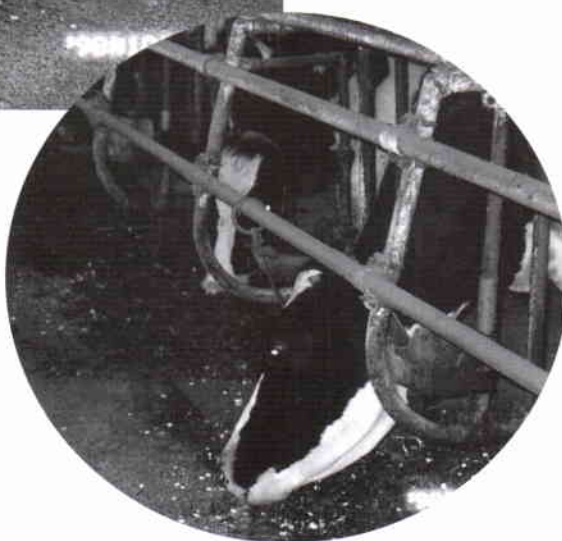


首が思うように曲がらない

3. コンフォート方式にはこんな欠点もあります



飼槽の採食可能範囲が3本の棒によって狭められています。乳牛は泌乳能力が高まり採食量も増加しています。当然、飼槽へたくさんの飼料を置くことになります。コンフォート方式はこれらの点が問題となります。



採食するのもやっつとです



3本の棒の内、1本をずらして採食しやすいようにしています。



4. 牛に優しいニューヨークタイによる繫留



対頭式の事例

スタンションからニューヨークタイに改善すると、飼槽通路が狭められます。給餌作業を考慮し改善可能かどうか検討します。



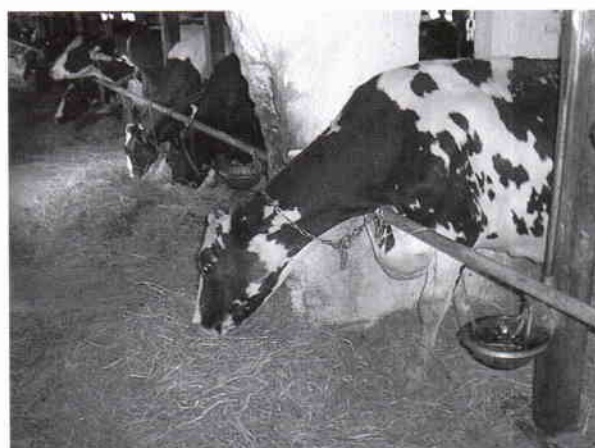
対尻式の事例



飼槽に前足を出さないようにするため、飼槽と牛床の間に仕切り板が必要となります。



こんな休息姿勢も可能です。



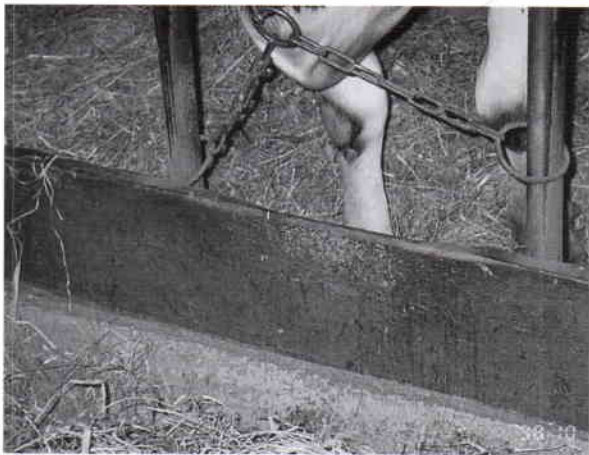
ません棒の位置は適切に設置します。低いと写真のような採食をします。



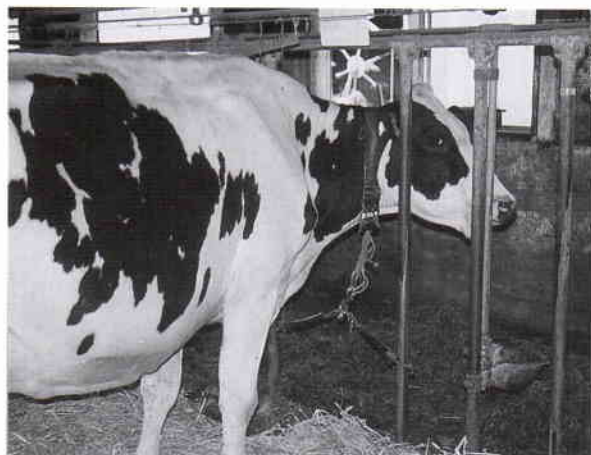
ません棒のとりつけは、牛が水を飲みやすいように工夫しています。

5. ちょっとした改善でも牛は快適です

スタンションを取り外しロープやチェーンで牛を繋留します。



左右支点方式 (No.1)



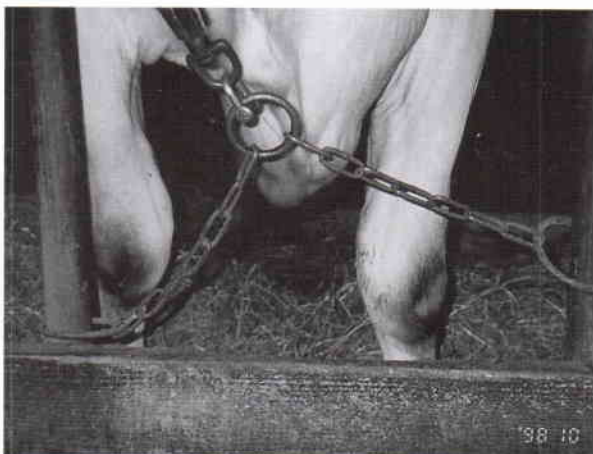
左右支点方式 (No.2)



上下支点方式 (チェーン)



上下支点方式 (ロープ)



牛とチェーンはこんな方法で繋がります。